

発行者  
上牧町社会福祉協議会  
〒639-0214 上牧町上牧3245-1  
(上牧町保健福祉センター内)  
TEL 0745-76-6098  
FAX 0745-79-2021

社協職員のつがやき①  
(情報保障)

このコーナーは社会福祉協議会で働く職員が日々の業務の中で感じた様々な疑問などを紹介するコーナーです。このコーナーをつうじて住民のみなさんに社会福祉協議会の目指す地域福祉像や職員の思いなどをご理解いただき、一緒に考えていただければと思っています。

社会福祉協議会にとって、この数年間は夏といえばホームヘルパー養成研修の季節です。例年7月に受講生の募集が始まり、8月から年末にかけて講座が行われています。昨年このホームヘルパー養成研修に聴覚障害のある方から「私はこの研修を受講することが出来るのか」という相談が寄せられました。受講生募集のチラシには対象者として18歳から55歳までの健康な男女と書いてあり、このチラシでは聴覚障害があっても受講は可能となります。ただ、ホームヘルパー養成研修を開講し

て3年になります。それが聴覚障害の方が受講を申し込まれたことはなく、手話通訳の手配やそれに伴う費用がどの程度か、もすぐには分からなかった。しばらく検討する時間をいただくことになりました。

調べてみると手話通訳の派遣は橿原市にある手話通訳派遣センターに依頼すれば通訳者の派遣を受けられることが分かりました。ただし派遣には1時間3000円の費用負担が必要になります。これを単純に計算するとホームヘルパー養成研修の全通訳をつけるのと単純に計算しても60万円程度の費用が発生します。この研修の総収入が100万円程度しかない状態での費用を社会福祉協議会が全て負担することはとうてい出来ません。そこで他に聴覚障害を持つ方がホームヘルパー養成研修を受講されたケースがあるのか、あればどのように通訳を手配したのかを奈良県社会福祉協議会に確認することになりました。(次回に続く)

『こんな夜更けにバナナかよ』  
本の紹介

支援費制度と介護保険制度の統合が伝えられるなか、障害を持つ人の地域生活がクローズアップされています。今月はこの本を紹介したいと思います。

昨年1冊の本が密かなブームになりました。「夜バナ」と略して呼ばれていたこの本は、施設を出て地域でひとり暮らしをする鹿野靖明さん(筋ジストロフィー)と彼の生活を支えるボランティアの間で交わされた介護ノートを中心に鹿野さんの「生」が描かれています。障害を持つ人の地域生活や介助の意味について考えさせられる一冊です。



▶『こんな夜更けにバナナかよ』  
筋ジストロフィー・鹿野靖明とボランティア達  
渡辺一史著 北海道新聞社

● 地域福祉セミナー ●

上牧・河合町合同企画の地域福祉セミナー04が4月17日に開催されました。今回のセミナーのテーマは「つながり、あなたはひとりじゃない」で、人とつながることの大切さややすらさや住民のみなさんに感じていた「あなたひとりじゃない」という思いで企画しました。

セミナーの講師としてお招きした大阪教育大学助教授の新崎国広さんの基調講演は、ボランティア活動をつうじて人とつながることの大切さについてお話しされました。実際、人というのは個性や価値観、社会的状況が違いコミュニケーションをとるのも勇気のいることだと思えます。そこで自分が今まで通りの生活を送り、人とつながりを持たないまま過ごすことも一つの考え方もあり



ボランティアって何?  
ボランティア活動の楽しさと意義

ません。しかし様々な考えを持っている人と出会い、つながりを築いていこうとすることで自分自身の新たな感性や想像力に気付くこともあるかもしれません。そして自分が主体的に人から地域へとつながりの輪を広げていけるような活動をしていくことも大切だと思えます。続いてシンポジウムでは上牧・河合の住民代表と河合町社協職員にコーディネーターの新崎さんを合わせた4人で行われました。上牧町でボランティアをされている辻本昭子さんは「ボランティアとして活動してきた中で様々な人と出会い、悲しいことや苦しいことなど相談に乗ってくれる仲間が増え、そのことが今では自分の大切な宝物」とお話しされました。河合町の子育て当事者である山本香織さんは地域で子育て中の方へ「核家族という狭い中に閉じこもるのではなく、地域のサロンや子育てサークルに参加してつながりを持つて欲しい」とお話しされました。最後に河合町社協の臼井さんから人と人のつながりについて社協職員の立場から発表がありました。

このセミナーを機に人とのつながりの輪を広げ、お互いが助け合い共感できるような地域への第1歩にしていだければ幸いです。

ボランティア基金へご寄付  
ありがとうございます

平成16年4月分〜6月分  
上牧町社会福祉協議会では、町内のボランティア活動を支援するため、ボランティア基金を開設しています。

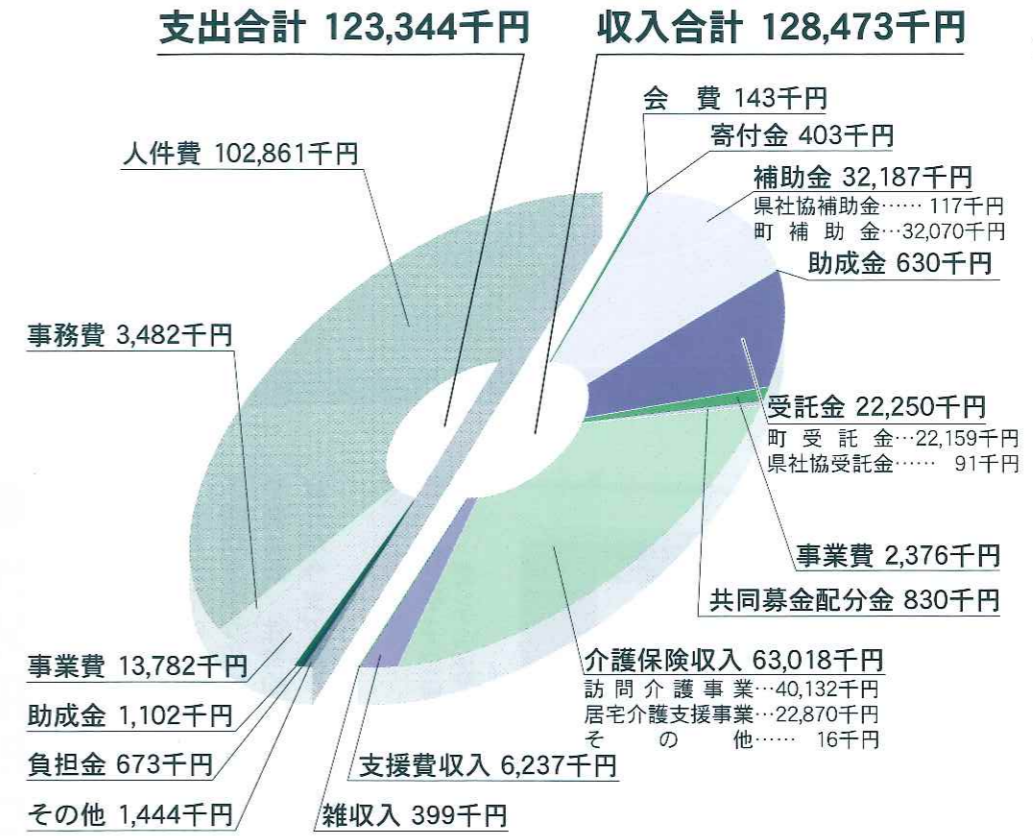
今回、左記の方々よりご寄付をいただきました。  
皆様からいただきました金品は地域福祉事業に活用させていただきます。皆様のご寄付に対し厚く御礼申し上げます。

なお、頂きましたご寄付は、所得税法上の控除の対象になります。ご寄付ありがとうございます。

氏名	種類	備考
野本直史	金銭	寄付金
明朗会	金銭	一円募金
友愛会	金銭	一円募金
ときわ会	金銭	一円募金

平成15年度

# 社会福祉協議会決算報告



- ### 平成15年度事業報告 (主なもの)
- 会務の運営**
    - ① 理事・評議員会の開催 各2回
    - ② 監事による監査の実施 3回
  - 広報啓発活動**
    - 社協だよりの発行 6回
  - 地域福祉活動の推進**
    - ① 小地域福祉活動実施地区への支援 7地区
    - ② 小地域ネットワーク連絡会の実施 月1回
    - ③ ボランティア団体への支援 19団体
    - ④ 知的障害者レスパイト事業 利用登録者 23名
    - ⑤ つどいの広場事業 117日開催 延べ1060名参加
  - 在宅福祉支援事業**
    - ① 給食サービス事業 年38回 2113食
  - 講習会の開催**
    - ① 点字講習会 延べ192名
    - ② 小中学生ボランティア講座 21名参加
    - ③ ホームヘルパー養成研修 40名参加
    - ④ 子育てサポーター養成講座 年4回(34名参加)
    - ⑤ レスパイトサポーター養成研修 17名参加
  - 住民参加活動**
    - ボランティアアフエスティバルの開催 500名参加
  - 介護保険事業**
    - ① 居宅介護支援事業
    - ② 訪問介護事業
  - 生活福祉資金貸付事業**
    - 生活福祉資金貸付事業 相談件数65件 貸付件数13件
  - 募金活動**
    - ① 日本赤十字社社資募集
    - ② 共同募金活動
  - 介護予防事業**
    - 延べ245名参加

## 筋力トレーニング事業が始まりました

介護予防の一環として、65歳以上の方を対象とした「筋力向上トレーニング事業」が15年度に引き続き始まりました。

トレーニング内容

- ① 持久的運動(有酸素運動)
- ② 筋力運動(自重負荷)
- ③ 柔軟体操(ストレッチ)

自分の体を使っての筋力作り、筋肉を気持ちよく伸ばすことを中心に

### 『何故、今運動なのか』

町の高齢化が進む中、1人でも寝たきりの方を増やさないよう出来るだけ自立した生活を送れるようにするためと考えています。また、これを機会に外出する喜び、身体を動かす楽しさ、

友達の輪を広げるなど自身の生活をより快適なものにしていくためと考えています。生活の中に運動習慣を取り入れることで「健康寿命」といわれる自立した生活を長く送れるようなトレーニングを行っています。

高齢だから、体の一部に障害を持っていないから無理というわけではなく、高齢になってもトレーニングを継続することで、色々な病気や能力低下を抑えたり、またみんなで行うことで楽しい雰囲気トレーニングを行うことが出来ると思います。

「継続は力なり」といいますがトレーニング(運動)を継続することが健康や長寿へとつながると思います。



### 社協って合併するの?①

もし上牧町が合併し西和市となった場合、社会福祉協議会はどうかになってしまうのでしょうか。

このコーナーではそんな市町村合併と社会福祉協議会の関係などについて紹介していきます。

市町村合併があった場合、合併する市町村にある社会福祉協議会はどうなるのでしょうか。

社会福祉協議会は社会福祉法で法的に規定されています。この社会福祉法の109条で市町村に1ヶ所しか設置出来ないこととされています。ですので市町村合併があると社会福祉協議会も自動的に合併しなければならなりません。西和7町の社会福祉協議会でも平成15年6月より合併研究会を立ち上げ合併について検討しています。現在は事業ごとに小委員会を作り各種事業の検討を行っているところです。次回はその様子を紹介します。

## スマイルネットの夏休みアニメまつり

- \*ボランティアからのお知らせ
- みんなで見に来てね!!
  - 日時: 8月22日(日) 午前10時~正午
  - 場所: 2000年会館 2階 第1・2会議室
  - 参加費: 無料
  - 内容: アニメ映画上映 (シニレック・ぼくたちのピースリバー)
- ※ユニセフポスター展同時開催  
主催: スマイルネット  
共催: ミラクルキッズ

